

2024 年 7 月 31 日
東京ガス株式会社

2024 年度（2025 年 3 月期）第 1 四半期決算発表説明会
Q & A

Q 1：営業利益ベースで通期見通しを据え置いたが、第 1 四半期までの対計画の進捗への評価と、据え置きとした考え方について教えてほしい。

A 1：都市ガス販売量は気温影響によりやや低調であるものの、全体としておおむね計画通りに推移していると評価している。海外セグメントにおいて第 1 四半期における市況影響を織り込んだものの、それ以外のセグメントおよび全社における継続的なコスト削減等の取り組みも踏まえ、当初計画レベルの利益は確保する見込みとした。

Q 2：海外セグメントについて、前回見通しから 40 億円の減益としているが、その理由は何か。また、足元においても北米ガス価格の低水準が続いているが、第 2 四半期以降の利益の押し下げ要因になるのか。

A 2：第 1 四半期（現地 1－3 月）において、北米ガス価格が低位で推移したことによる利益影響を反映したもの。第 2 四半期以降についても一定程度市況の影響を受けることが想定されるが、コスト削減等の要素による挽回も見込んでおり、現時点では第 1 四半期において発現した影響のみを反映した。

Q 3：エネルギー・ソリューションセグメントにおいて都市ガス・電力販売量が計画を下回っているということだが、その理由は何か。利益見通しを修正しない理由は何か。

A 3：都市ガス販売量の減少については、主として 24 年 3 月後半の低気温から生じた収益認識見積差によるものである。なお、その影響量は、プレゼンテーション資料（スライド 7 ページ）において「その他」に含めている。電力販売量の減少は、卸売販売量が減少したことによるものである。いずれも今後の気温等による影響の予測は困難であるため、前回見通しを据え置いている。

以上